

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
お城でのマナー	城西	公園	<p>一昨日、お城でドローンを飛ばしていた人がいて、騒動になった。看板を設置すべきではないか。</p> <p>また、本丸などの高所で草刈りを行っている人は、柵の外でやるときに命綱をしていない。高所作業のときは常識ではないか。</p> <p>また、草刈り機を使用しているときに、石が跳ねないような部品をつけていないので、先日作業をしている人の後ろを通っていると、石が飛んで顔に当たった。文句を言うと、後ろを歩いている人なんか見えるわけがないでしょう、と言われた。</p> <p>また、城内案内看板の英語表記がおかしいということを話していた外国人がいた。聞くと、県内の英語の案内表示の誤りを見つける仕事をしているとのこと。市としても、積極的に見直すべき。</p>	<p>ドローンの件は中国人で、また夜でもあり、国際交流協会職員も不在であったため、市も警察も対応に苦慮していたということです。</p> <p>ラジコン禁止の看板はあるが、それほどケースが多いわけでもなく、担当の都市計画課では今のところは個別に対応するが、ケースが増えれば検討いたします。</p> <p>草刈りについても、担当課に報告します。</p> <p>英語表記のおかしい案内表示は見返り坂手前のものということなので、確認いたします。</p>	都市整備部	都市計画課
丸亀城石垣工事	城西		<p>丸亀城の石垣修復工事だが、城内グラウンドを資材置き場に、遊歩道を整備したが、いったいつから始まるのか。城内を朝早くから散歩している市民の間で、市役所はいったい何をグズグズしているのかと話題になっている。</p> <p>先日も遊園地があった場所にある鉄棒の取替え工事をしてしたが、すぐにできそうなものだが、10日以上もかかっており、常に使用している市民は苦情を漏らしていた。</p> <p>このようになんでもそうだが、対応が遅いと常に利用している市民は、市役所に対して不審を抱くものである。</p>	<p>石垣修復工事ではイレギュラーな事態が発生したこともあり、現在のところ詳細なスケジュールを組むことができていません。時期が来れば公表したいと考えています</p> <p>4.</p> <p>鉄棒はサイズを正確に測る必要があったということで、請負業者が鉄棒を取り外した後で、鉄棒の製作にかかったもので、ご理解をお願いします。</p>	教育部	(教)総務課
三谷寺の多宝塔の高さ	市外		<p>神社仏閣巡りを趣味としています。</p> <p>現在、巡り終えました古塔(層塔,多宝塔など)のデータを記録に残すべく纏め作業をしています。その中で貴市に建っています三谷寺(丸亀市飯山町東坂元3183)の多宝塔の高さ(塔身の高さ,相輪の高さ,総高)を種々と調べましたが分かりませんでした。多宝塔の高さ(塔身,相輪,総高)を教えて戴きたいのですが。</p> <p>ご多忙中のところ大変申し訳ありませんがよろしく願いいたします。</p>	<p>三谷寺住職への問い合わせ及び市史等の書籍を調べましたが、住職の回答は明確でなく、また書籍にも記載がありませんでした。</p> <p>書籍のコピーを同封させていただきますので、ご参考になれば幸いです。</p> <p>(参考図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯山町誌 ・「いま語り継ぐ先人たちの気概と誇り 塩飽大工」 ・「ふるさと飯山」 <p>(返信)</p> <p>「三谷寺の多宝塔の高さについて」の説明書、拝受致しました。公務ご多忙の中、資料を纏め返信戴きまして有り難うございました。</p> <p>参考書籍、大変参考になっています。取り急ぎ資料を受け取った事の報告と親切・迅速な対応への御礼をメールさせて頂きました。本当にありがとうございました。</p>	教育部	(教)総務課
丸亀資料館の開館日	市外		<p>9月19日に丸亀市立資料館へ観光に行きたいと思っているのですが、前日が月曜日の祝日のため、振替で19日の火曜日が休館日になったりしていないかと思い質問させていただきました。お忙しいところ恐縮ですが回答のほどよろしくお願い致します。</p>	<p>このたびは、当館に観光でおいでとのこと本当に有難うございます。</p> <p>9月19日が休館日かどうかといったご質問だったと思いますが、当館では「武士の装い展—ニッカリ青江特別公開—」の期間中 9月16日(土)～10月1日(日)は、無休となっております。ですので、休館日を気にすることなくご旅行の予定を立てても大丈夫！ご安心しておいでください。</p> <p>まだまだ暑い日が続きます。遠路くれぐれもお気をつけて。職員みなまでお待ちしております。</p>	教育部	(教)総務課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
地名由来	市外		飯野山の読みは？飯山の由来も教えて下さい。	<p>「飯野山」は「いいのやま」と読みます。丸亀市のシンボルとして、讃岐平野の美山の象徴として愛されている飯野山は、讃岐富士と呼ばれ、円錐形の見事な姿を誇っています。</p> <p>飯野山は、平成17年3月22日に「新日本百名山」に選定されました。</p> <p>「飯山町(はんざんちょう)」は平成17年に丸亀市、綾歌町と合併し、現在の丸亀市となりました。地名の由来は「飯山町誌」によりますと、昭和31年に法敷寺村と坂本村が合併して飯山町が発足し、その由来は飯野山の南麓に位置することから、古くから飯山地方と呼ばれていたことによるものとのことです。</p>	市長公室	秘書広報課
塩飽勤番所建築資料	市外	離島	塩飽勤番所建築の時に屋根の瓦をどこから発注したかを調べています。岩黒島のものではないかと想像しています。勘定帳のようなものがあるのではないかと考えています。資料があればご教授ください。	<p>お問い合わせのありました、勤番所建築時の屋根瓦の発注先についてですが、建築時のことがわかる資料ではありませんでしたが、安政4(1857)年と安政5(1858)年に勤番所と裏堀を修繕した際に使用した瓦代についての記載が、高倉哲雄・三宅邦夫共著塩飽大工顕彰会『いま語り継ぐ先人たちの気概と誇り 塩飽大工』にありましたので、コピーを送付します。</p> <p>この安政4、5年の記事の出典は、塩飽史談会文庫所蔵『藤井家文書』となり、本市所蔵ではありませんので、見ることは難しいかもしれません。</p> <p>また、丸亀市史と塩飽勤番所跡修理工事報告書にも勤番所建築の記載がありましたので、コピーを同封します。</p>	教育部	(教)総務課
伊勢太神楽	市外	離島	伊勢太神楽の放送がありました。9月13日前後らしいです。舞台は丸亀市本島です。このとき、太神楽が来るのを断ったときに、不幸があったとかの書類も放映されたようです。その書類を拝見できないでしょうか。塩飽の歴史を調べているものです。よろしく願います。コピーでも可。	<p>ご覧になったのは、OHK岡山放送の『瀬戸内遺産 OHマイ瀬戸内』という番組でしょうか。</p> <p>番組で見られたように、伊勢大神楽が今年も8月の末頃から本島を訪れ、各神社などを回られ、神楽を奉納されておりました。</p> <p>ご質問の「神楽が来るのを断り不幸があった」と言う部分について、繰返し内容を確認させていただきましたが、見つけることができませんでした。番組の最初の辺りで、大神楽が塩飽の島々を訪れるようになった理由で、一行を乗せた船が本島の沖で遭難した時に本島の漁師が一行を助けたので、翌年からそのお礼に、島の人々の幸せを祈って訪れて神楽を舞うようになった話がありましたが、こちらとは別の話でしょうか。</p> <p>また、島民の方にも問い合わせたのですが、「神楽が来るのを断り不幸があった」という事実をご存知の方もおられず、言われているような書類の情報は得られませんでした。よろしければ、番組ではどのように紹介されたのか、お教えいただけないでしょうか。</p> <p>本島小学校のホームページで「伊勢大神楽」について掲載していますので、ご紹介いたします。</p> <p>塩飽の歴史を調べておられるとのこと、うれしく思います。ご不明な点がございましたら、いつでもご連絡をいただきたく存じます。</p>	生活環境部	市民活動推進課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
「武士の装い展」	市外	観光	先日、「武士の装い展」を拝見いたしました。 初めて訪れましたが、今回は展示品の写真を禁止されており、特に刀のブースは人が多く、鑑賞時間が短かったことがとても残念です。ニッカリ青江につきましては11月にも展示があるようですが、遠方のためそう何度も来れず、後からじっくり見返せる展示品の図録があればすごく良いな、と感じました。 図録の内容としましては、 ・展示品の写真、および解説・生駒家、山崎家、京極家の歴史など、丸亀城の歴史を網羅したもの と言うものがあれば、展示品に加え、丸亀についての知識を深めることが出来ると共に、図録を通してより多くの方に丸亀の魅力を伝えることが出来ると思います。写真・解説がついた簡単なもので構いませんので、価格は¥1000前後でお考え頂けたら嬉しいです。 次回展示の際には、ぜひご検討いただければと思います。宜しくお願い致します。	次回展示の際にはご意見を参考にさせていただきます。	教育部	(教)総務課
丸亀城本丸の電柱	城西	観光	築城420フェスタで観光客がたくさん来ているが、本丸の天守の近くに1本立っている電柱は、違和感がある。 全国で12しかない木造天守にはふさわしくないのではないか。 また本丸から4月と10月に飯野山の頂上から朝日が登り、よく写真をとっているのだが、それにも邪魔になっている。 なんとか電線を地中化するなど検討してもらえないだろうか。 二の丸にもあるが、全部とは言わない。	たしかに電柱は木造天守のある本丸にはふさわしくない。担当に連絡し、検討を依頼する。 都市計画課によると、電柱を除去することは可能だが、地中化(地面を掘る)は文化庁が認めてくれない。むき出しの電線を地面におくか、もしくは電線に土などを被せるか、という方法しかないようである。	都市整備部	都市計画課
糸目姓	市外		祖父の代から今の住所に住んでいるが、先祖は香川県出身であると聞いていた。江戸時代はどうやら丸亀藩の郷士であったらしく、盗賊団を討伐する際に、最後に残っていた一人が燈籠に隠れていたところを見つけて討ち取った、という話が身内の間で伝来されている。 今日は徳島に用事があったので、なにか手がかりが見つかるかと思い、丸亀に立ち寄ってみた。 ケントウ神社に縁があると聞いている。	お伺いの糸目姓についてですが、丸亀市内では現在はないようです。 ただ、「ケントウ神社」について調べてみようと、丸亀市立図書館所蔵の「香川県神社誌」を紐解きますと、丸亀市の隣の綾川町にある「脇神社」に「糸目」姓の人物の記載がありました。これによると、「糸目は羽床七人衆の一人にして豪勇の聞こえあり」とあります。 羽床氏は地元の豪族で、長宗我部元親に従い、豊臣秀吉軍に加わりましたが、島津氏に討ち取られ滅亡しています。(羽床城跡もあります。) 残念ながら丸亀藩に糸目氏がいたということは確認できませんでしたが、何かの手がかりになるかと思い、「香川県神社誌」の脇神社のページのコピーをお送りいたします。	教育部	(教)総務課
遺品の手がかり	市外		(むつ市役所職員の方) 青森県むつ市在住のアメリカ人から、祖父の遺品を整理していると、寄せ書きが書かれた日章旗が見つかった。詳しいことはわからないが、祖父が南の島で拾ったものであるとのこと。 その方はもし持ち主の子孫がわかればお返ししたいとの希望である。調べてみると、寄せ書きをしている人たちの姓は、四国、特に香川県に多いものであることがわかった。 東京出張があったので、なにか手がかりとなるようなことがあればと思い、香川まで足を運んだ。 持ち主の「松江」氏は、香川県の所有する戦没者の名簿にはなかった。厚生労働省の陸軍の戦没者の中にもなかった。	確かに寄せ書きをしている「行成」、「阿河」姓などは全国の都道府県で香川県が圧倒的に多いようである。 寄せ書きの中の姓にあまり偏りが無いので、町内会などではない可能性がある。だとすれば職場が考えられ、代表者を探すことができれば、手がかりがつかめるかもしれない。(「丸亀市史」では見つからなかった。) 同姓の松江さんに聞いてみたが、もともと丸亀ではないのでおそらく関係ないと思うとのこと。 「松江」姓は全国的にも少ないとのことである。 資料館などで調べて、何かわかれば連絡することとした。	教育部	(教)総務課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
資料館の休館日	城西		先日、資料館を訪ねたところ「12月9日から1月3日まで休館させていただきます。」と掲示されていました。実に26日間の休館です。 資料館条例によると休館日は「月曜日、祝日及び12月28日から1月5日」と「館長が定める年10日以内の期間」となっています。26日間のうち条例で定められた休館日は11日と館長の判断で休館できる10日を足しても21日です。これだけ長期間休館するにはそれなりの重大な理由があると思いますが、掲示板には「教育委員会」が決定したという文言は見えません。この休館は条例違反と言われても仕方ないと思いますがいかがですか。 そして、丸亀城の入館者数増加のためにもこの時期資料館も何らかのイベントか市の財産物の展示等でかかわるべきと思いますが、いかがですか。お答えください。	ご承知のとおり、丸亀市資料館条例の中で休館日を定めております。ご指摘の今年度の休館日を12月9日～1月3日までと決めました理由ですが、12月28日～1月3日までは年末年始の休館日の扱いとしています。残り12月9日～27日までの月曜日、祝日を除く15日間を資料整理及び館内のメンテナンス作業として休館日といたしました。具体的には、施設メンテナンスとして年に1度、床の全館ワックスがけ、害虫駆除のための全館燻蒸、展示ケース内及び収蔵庫・民具展示室の清掃、全館停電を伴う電気やエレベーターの保守点検等を行います。また、資料整理として、受け入れ資料の整理や収納等お客様のいない時でないといけない業務を集中的に行います。本来でありますと、これらの業務を10日間で行うべきですが、昨年度耐震改修工事等を行い、今まで2階へ行きにくかった方々の負担軽減としてエレベーターも設置し、今まで以上に2階展示内容を工夫して展示替えをしたため企画展示資料の撤去や借用資料の返却、展示資料の入替等の作業が加わり10日間で業務を行うことができず、休館日が長くなった次第です。教育委員会には展覧会の充実という事で、休館延長の了解を得ていましたが、結果的に皆様にご迷惑をおかけすることになり申し訳ございませんでした。 来年度からは、展覧会を充実させながらも展示内容やメンテナンスの期間等を検討して、少しでもご迷惑がかからないようにと考えています。また、丸亀城の入館者数増加のためにも、何らかのイベント等でかかわるべきとのご提案につきましては、資料館の今後のかかわり方について、近隣の資料館・博物館の状況や関連施設の状況等を研究してまいりたいと考えています。	教育部	(教)総務課
史跡	市外		丸亀市内に多賀常良、浅井井頼という方の墓碑或いは供養塔はございませんか？ ございましたら詳細な場所、行き方をご案内お願いいたします。御返事宜しくお願い申し上げます。	お問い合わせの件ですが、丸亀市南条町34番地の玄要寺(藩主京極家菩提寺)に多賀常良の墓はございます。浅井井頼の墓は現在、確認されておりませんが、子孫の墓といわれるものが同じく玄要寺に2基確認されております。場所は別紙の地図をご参照ください。JR丸亀駅から南へ徒歩10分くらいです。また、墓のある場所についてもわかりにくいと思いますので、地図と写真をご参照ください。他に何かご不明な点などございましたらご連絡ください。 写真①京極伊知子、多賀常良墓 ②7代 浅井長正墓 ③6代 雙山(浅井重兵衛政徳)墓	教育部	(教)総務課
旧岡田村(現綾歌町)の藩主	市外		旧岡田村は最初は生駒領、寛永19年から高松藩領と言われますが、生駒も高松藩ではなかったのですか。なぜ別書きするのでしょうか。 また、岡田が丸亀藩に属した時期がありますか。 角川日本地名大辞典(昭和60年刊)を見ておりますと上記のように書かれていて不審に思ったのです。	2月6日付でご質問のあった旧岡田村の藩主について回答いたします。 生駒氏が讃岐を統治していた天正15年(1587)より寛永17年(1640)までは、讃岐は高松藩と丸亀藩に分かれていませんでした。(讃岐一國)高松藩が成立したのは寛永19年(1642)のことで、松平頼重に東讃岐12万石の支配が命じられました。ちなみに、寛永17年より寛永19年の松平頼重の入部までの間は、岡田村は伊予今治城主松平美作守の在番となっていました。 これらのことから、角川日本地名大事典には、旧岡田村の変遷が生駒領、寛永19年より高松藩領と別書きされていると考えられます。もう1点のご質問「岡田が丸亀藩に属した時期について」ですが、江戸時代を通して岡田村は高松藩領に属していました。以上簡単ではありますが、回答させていただきました。何か分からない点がございましたら、電話(0877)22-5366までご連絡下さい。	教育部	(教)総務課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
丸亀藩士 間垣平九郎	市外		<p>平成26年9月に間垣平九郎の文献などについて要望した際には、様々な資料をいただき、ありがとうございました。 現在東京都港区に勤めており、港区郷土資料館の特別展で愛宕山・愛宕神社関連の特集をし、間垣平九郎に関する本が見つかった。2冊あるので、1冊を丸亀市に贈呈いたしたい。</p>	<p>お心遣い、大変感謝いたします。ありがたく頂戴いたします。 いただいた資料は、資料館もしくは文化財保護室職員に見せることいたします。 (以前に調べた範囲では、間垣平九郎が実存したという資料は見つからず、講談の中の架空の人物ではないか、と推定したのだが、興味深いお話である。)</p>	教育部	(教)総務課